

囲いやま森の会 活動記録 (第 303 回)

壱岐貞俊

日 時 : 2015. 10. 3 (土) 10:00~12:30 天気 : 晴

参加者 : 壱岐・木村・佐久間・西澤・野口・馬場・三嶋・松戸・森山・山口 10 名

活動報告 :

(1) 北側林縁部整備

連続 3 日目の北側林縁部整備に精を出した。

- ・道路上に張り出た 5 mH 程度の枝等伐採を高枝切なる新兵器にて実施。
5 mH 程度の高所にあるミズキ・ムクノキ等 10 φ 程度の枝を 7~8 本伐採。
本日の進捗は先日同様、北側フェンスに沿って 5 m 程度。依然道半ばである。

* 同上作業でヒヤリハット事例発生

3 本目の張り出し枝伐採時、交通監視役の K さんが、まだ枝が落ちてこないと判断し対象枝の下に移動した。まだ 3 割位の切込み量なので切っても K さんの動きに気づいたが、高枝切の動きを止めなかった。突然、前触れの音もなく枝が根元で裂け枝先が落下、K さんの頭に落ちた。幸いにも K さんに怪我は無く事なきを得た。

反省 ①落下物 (予想物含む) の下には入らない。

②作業者はヘルメット着用

③枝落下の予兆を自己判断するのは禁物。

・伐採木の整理

これまでに蓄積したのを即席のビオネストに片付け開始。多量の為今後継続要。

(2) 10 月 31 日 (土) の森の音楽会に向けた準備

・会場広場の整備

広場までの通路の片付け、広場の草刈、舞台・座席の点検を実施し、不具合対応を議論。

・森の音楽会関係者との打合せ及び会場視察対応

一起の会 (佐竹さん)、森の音 (原さん)、埴笛 (笠村さん他 2 名) の打合せ

打合せ等

・10 周年記念箱根湿生花園の観察会 (9 月 15 日実施) の件

不参加者へ心ばかりのお土産を渡した。今日の欠席者の分は壱岐が保管。

・来年のオープンフォレスト実行委員は佐久間さんをお願いした。

・直近の特別企画、10 月 25 日 (日) 子どもつとまつど、10 月 31 日 (土) 「森の音楽会」

これら対応で次回の定例作業日 10 月 20 日 (火) 以外に 10 月 22 (木) を臨時作業日。



南広場の除草整備



北側道路の枝打ち後



北東側隣家に張出すエノキ? 苦情

囲いやま森の会 活動記録（第 304 回）

壺岐貞俊

日 時：2015.10.20（火）10:00～12:30 天気：晴

参加者：赤石・新井・壺岐・木村・西澤・野口・馬場・森山・山口 10 名
佐竹（一起の会）

活動報告：

(1) 10 月 31 日（土）の森の音楽会に向けた準備

- ・ステージ・観覧席の応急修理実施。
但し、ステージは基礎の丸太、根太とも寿命に近い。予算措置等対策検討要。
- ・ステージ上部に張り出すイヌザクラの枯枝発見、22 日に対応予定。
- ・会場周辺の伐採木等片付け。

打合せ等

- (1) 箱根湿生花園旅行お土産 赤石・新井さんに手渡し。
- (2) 27 日棕櫚箒作りの準備は当日実施。
- (3) 25 日の「子ども自然アート体験教室」について、子どもっとまつど と事前打ち合わせ
・タイムスケジュール・参加者数・班分け・講座内容・ヘルメット等準備品について相互に確認。
・当方の参加予定者は野口・新井・山口・馬場・壺岐。
- (4) その他
・ご近所の加藤さんから西側の落葉について対策の依頼あり。後日対応の旨回答。
森の落ち葉が庭まで入ってきて、それは各自が清掃をしている。
道路側に傾いている木を伐採してもらえると、倒木による危険がなくなり、落ち葉が少なくなる。
当面の作業は、北側道路の枝の伐採などで、続いて東側隣家の対策後に西側を整備。
道路側の枝の伐採は、事故の問題もあり慎重に作業をしなければならないとの意見。
・22 日の遊具設置作業は 9:30 開始予定。

観察記録

- ・アケビ（食べごろ）・シャクチリソバ（可憐な白い花）・ツルウメモドキ（青実）
- ・アケビコノハ幼虫（馬場さん撮影の写真）



アケビコノハの幼虫



シャクチリソバの花

囲いやま森の会 活動記録（第 305・306 回）

壺岐貞俊

日 時：2015.10.22（木）9:00～12:30 天気：晴

参加者：赤石・池田・壺岐・木村・野口・山口 5 名

2015.10.25（日）9:30～14:00 天気：晴

参加者：新井・壺岐・佐久間・野口・馬場・山口 6 名

活動内容：

- (1) 10 月 22 日は 25 日の子どもと松戸「子ども自然アート体験教室」に向けた準備

- ・遊具設置
- ・ステージ上部に張り出す犬桜の枯枝伐採・処理。
- ・集会エリア倉庫裏手の枯木伐倒・処理。

- (2) 10 月 25 日 子どもと松戸「子ども自然アート体験教室」

- ・講座参加者：大人 9 名、子供 7 名、スタッフ 5 名。囲いやま森の会は上記 6 名。
- ・10 時頃集合完了。挨拶と囲いやまの概要説明の後、森での諸注意事項を伝達し活動を開始。

先ず、馬場・山口さんをガイドに 2 班に分かれて小 1 時間の森の自然観察、次に、藪漕ぎ・昆虫採集・遊具遊びの 3 グループに分かれ個別に行動。

昼までの余った時間は遊具・木登り・昆虫や花の採集を楽しんでもらい、12 時過ぎ講座完了。

- ・皆さんの感想

保護者 A：子供時代に過ごした田舎の遊びを思い出したが、子供に同様の体験をさせられてよかった。

保護者 B：風が多少強かったこともあって森の木々のそよぎを強く感じられた

保護者 C：気に留めたこともない植物や虫のことをいろいろ聞けてよかった。

子供たち：ブランコ、ハンモック、スラックライン等の遊具が楽しかった。

- ・囲いやまの森での講座を記念し、青い実をつけたツルウメモドキを提供した。

- (3) 10 月 31 日（土）「森の音楽会」について

- ・会場準備の関係でメンバーは 10 時集合。
- ・子供虫博士対応もあります。（私の忘備）
- ・25 日、囲いやまの森の音楽会の案内ビラ約 100 枚をご近所にポスティング。

<今日の観察>

ホソミオツネトンボ（音楽広場のカエデに止っていた）、トビナナフシ（羽を広げると赤くてとてもきれい）、ウラギンシジミ、ムラサキシジミ、キチョウ、モンシロチョウ、アキアカネの乱舞、オオカマキリ（卵でお腹が大きく膨らんでいた）、コカマキリ、ヤモリ、ニホントカゲ

*トビナナフシ・ホソミオツネトンボを見ることができて、囲いやまの自然は捨てたものじゃないなと感じます。（山口）



トビナナフシ(撮影:馬場)

囲いやま森の会 活動記録（第 307 回）

壺岐貞俊

日 時：2015. 10. 31（土） 10:00～14:30 天気：曇

参加者：壺岐・池田・岩田・佐久間・西澤・野口・野口 Y・馬場・三嶋・森山

（一起の会） 佐竹・伊藤・高橋、一般：40 名（坤笛・森の音の 19 名含む）

活動内容：

(1) 「森で楽しむ音楽会」は、囲いやま森の会・一起の会の共催

- ・オカリナグループ「坤笛」（7 名）とコカリナグループ「森の音」（12 名）の皆さんが出演。12 時 30 分から 2 時過ぎまで、予定の曲目を夫々のグループにて演奏。
- ・途中小休止し、熱いハーブティーと菓子を提供。少し寒かったので好評だった。
- ・後半の部に先立ち、両グループ合奏で、3 曲をみんなで歌いました。
- ・14 時過ぎに音楽会終了。
- ・ハロウィンと重なり子供の参加ゼロは残念。但し子供を想定すると選曲に工夫要か。

(2) 「子供虫博士対応」

- ・経緯は 2 年前のオープンフォレストに遡る。囲いやまでお土産として渡したカブトムシを、当時幼稚園年中児だった山本創結君は、飼育は勿論、繁殖も手掛けたそうです。この夏小 1 生としてこの間の観察記録をまとめ、夏休みの成果として提出し「県レベルで金賞」を獲得したそうです。識者の指摘に、繁殖は近親でなく交雑させること云々とあり、両親は取り敢えず「囲いやま」に相談を持ち掛けられたという次第。その時、森の音楽会にも興味を示されたので、これ幸いとばかり本日、山本さんのご家族にお出で頂き対応した。
- ・10 時半から小 1 時間、森にあるクヌギの木を案内しその周囲で幼虫を探して貰った。成果はゼロ。創結君は森の中で笹や蔓に邪魔されながら落葉を取り払い移植ごてで殊勝らしく穴掘りし幼虫を探していたが、直に弟と非日常の森を楽しんでいた。
- ・森での幼虫採取が不首尾に終わることを想定し、予め準備した野口さん手持ちの「秋山の森産」カブトムシの幼虫を山本さんに見て貰うと、大いに喜ばれ 10 匹お持ちになった。残余の 3 匹はクヌギの木の辺りに軽く埋めた。今後観察していく。尚、カブトムシの事なら「秋山の森」でも歓迎する由、野口さんから案内した。
- ・山本さん一家、ハロウィンの約束有りということで「森の音楽会」は練習風景に触れたのみ。

(3) 仮称「木登り体験コース」のルート検討

- ・狸の溜めグソ発見エリア辺りを通るルートを仮設定した。

(4) 次回の作業

- ・イベントが続いたが今日で一段落した。

森北縁の整備を再開予定です。



タヌキの溜め糞

森で楽しむ音楽会

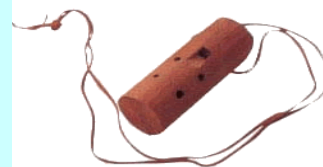


囲いやまの森の広場でオカリナ・コカリナの演奏会

オカリナ



日 時： 10月31日（土） 12時30分～14時
会 場： 囲いやまの森（金ヶ作）
演 奏： オカリナ 坤笛 7名
松戸コカリナサークル 森の音 12名



コカリナ



坤笛



森の音



囲いやま森の会 活動記録（第 308 回）

壺岐貞俊

日 時：2015.11.7（土）10:00～13:30 天気：曇

参加者：壺岐・池田・佐久間・西澤・野口・野口 Y・馬場・三嶋・森山・山口 10 名

千葉大生：相木君が作業日に合わせて来訪。卒論テーマが“都市近郊の個人所有樹林地を将来に渡り管理された形で維持するための方策検討”ということらしく、そのための現地調査が目的とのこと。彼には作業状況を観察して貰い、作業後、質疑応答、昼食は野口さん準備の握り飯を頬張り、懇談に花が咲いていた。

（1）活動内容

- ・北縁道路にはみ出た枝の伐採

作業途中、枝が通過車両に落下するアクシデントを発生させてしまった。

状況は、自動車通過時、作業を停止し待機していたが、枝が予期に反し落下し、通貨輻に当たったもの。道路エリアの枝打ちは、通行を遮断せず安全にできる方策を検討してから、実施継続か、実施をやらないかを判断することにした。

- ・野外ステージ西側エリアの作業通路作り

- ・北縁整備で出た伐採木の整理

- ・熊野神社側境界部の笹垣づくり

- ・ゴミの収集分別（三樹の会の担当）

市のゴミ袋数で 12 個位にまとめた。内訳は別途連絡予定。

（2）自然観察

- ・狸の「ため糞」を前回見ていない会員やゲストの相木君らが連れだって観察。

今回のため糞は森の南西にあるが、2006 年 6 月に北東エリアで見つけた記録があり、



上の 2 枚は今回の溜め糞
数時間前の新しい糞、ハエがブンブン
下は 2006 年の写真

囲いやま森の会 活動記録（第 309 回）

壺岐貞俊

日 時：2015. 11. 17（火） 10:00～12:30 天気：晴れ

参加者：赤石・壺岐・佐久間・西澤・野口・野口 Y・馬場・三嶋・松戸・山口

三角（5 期）

11 名

北縁道路上にはみ出た枝の処置について議論した。入口から東側の部分は、林内から枝落としてできる程度の作業は完了した。この先は林縁の大径木伐採が必要な状況であり、ボランティアレベルの作業範囲を逸脱する可能性がある。そこで、木々の干渉状況把握の為、落葉を待ち、その間具体的な作業方法を検討することにした。

(1) 活動内容

- ・ 入口より西側の北縁について、棕櫚伐採、アオキ伐採、サワラ等枝落とし
- ・ 同上伐採木・枝等のバイオネストへの廃棄処理
- ・ 東縁のキズタ切断処理
- ・ ゴミの分別と廃棄場所への移動保管
内訳は小物可燃物 2、不燃物ガラス・金属 6、ビン類 1、缶類 1、家電製品 1、粗大ゴミ・その他 2。

(2) その他、思いつき事項等は下記の通り。

- ・ 落葉集積場所の笹等伐採整備は冬場の作業として計画する。
- ・ 嘗て池だった？個所の現状を観察し、今後の作業計画に反映する。
- ・ 森の南東部にクヌギがあり、その辺にカブトムシ繁殖作戦を展開する。
- ・ 入口より西側北縁にも伐採木廃棄エリアを新設する。

(3) 自然観察

- ・ 皆さん作業に没頭、今日は割愛。



北縁作業前の状況



作業後



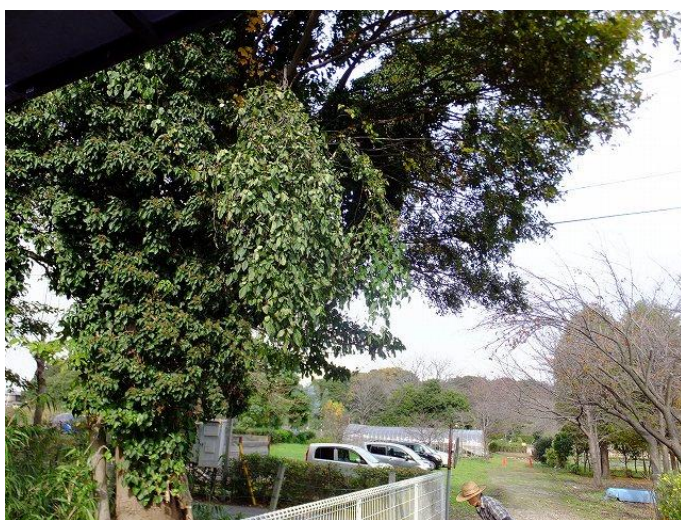
バイオネットで剪定枝の片付け作業



北側道路沿いでシュロなどを伐採



大木のエノキに絡むキズタを根切り



隣家の駐車場に張出すエノキの枝は伐採予定
キズタの枯れ状況をみながら実施検討ですね



北側道路に張出す枝は電線に架かり、伐採したいところ、
道路の交通量の問題があり、“ヒヤリハット”の危険で
作業を見合わせ～、業者にお任せか？

今回の収集ゴミを集めました



囲いやま森の会 活動記録（第 310 回）

佐久間 重治

日時：2015.12.5（土）10：00～13：00 天気：晴れ

参加者：野口・野口 Y・馬場・森山・井口・西澤・山口・佐久間 8 名

新規に野田氏が作業日にあわせて来訪。彼には作業状況を観察してもらい、作業後、質疑応答あり、入会の意向です。

昼食は野口 Y さん準備の握り飯を頬張り、懇談に花が咲いた。

（1）活動内容（ステージ北側台地上の区画の手入れ）

・伐採

1、エゴノキ 1 本

2、イヌシデ 2 本

・落ち葉かき

（2）新ルートの開削

- ・狸の「ため糞」の近くを通り、昔のため池近くを通る新ルート。

（3）自然観察

- ・狸の「ため糞」を新規の野田氏らと連れだって観察。

今回の溜め糞は、前回の糞溜りの上から後ろ側にありました。

困いやま森の会 活動記録（第 311 回）

壺岐貞俊

日 時：2015.12.15（火）10:00～15:00 天気：曇

参加者：赤石・新井・壺岐・木村・佐久間・野口・馬場・三嶋・山口 9 名

今年最後の作業日。やりっぱなしのまま新年を迎えるわけにはいかないし、近所から出された苦情処理もしたいので、それぞれの作業場所を分担して力仕事も頑張った。その結果、森に新年の装いを施せたかな～と思う。森で流す汗は適度な気温のせいもあり快適そのもので、この一年の締めくくりができたと思う。懸案の倉庫内物品員数チェックは昼飯後の実施となった。千葉大生の相木君が森を再訪し、卒論のネタにすべく「里やま」ボランティアに勤しむ我々へのアンケート調査を依頼して、皆の、協力で提出。近隣の方々への調査も実施するそうで、回収率向上策について思いつくことを助言。

(1) 活動内容

- ・入口より西側の北縁について、伐採したままだった棕櫚の片付け、ごみ回収。
- ・東縁隣家の車庫にかかるムクノキの枝を伐採・処理。隣家のご主人が立会してくれ、一段高い枝に移る際、間髪入れず脚立を出してきてくれた。
- ・ハナイカダの広場（仮称）の笹刈。
- ・ヤマユリの小道（仮称）近傍のシラカシ・シロダモ・アオキ等幼木伐採・処理。
- ・倉庫の整理 整頓 清掃を実施

(2) 自然観察

- ・それぞれ作業に没頭したが、ヤマガラ・ヒヨドリ・シメ・シロハラの鳴声は聞いた。マンリョウやアオキの実の赤色は際立っていた。

(3) 打合せ

- ・ステップアップ講座についてアンケート依頼等、野口さんから関連の説明あり。
- ・月 2 回の作業日以外に会員が気軽に森に来ていろんな活動ができる日として第 2・4 火曜日を追加してはどうかという意見があった。次回の作業日に諮る。

(4) 次回予定

- ・次回は 1 月 19 日（火）：道路沿いのゴミ収集、園路の整備、森の中の自然観察の後、場所を変えて新年会を予定します。



東縁作業前の状況 同左作業後



花筏の広場作業後 ヤマユリの小道作業後